

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name)	U.H.
所属 (School)	現代システム科学域 環境システム学類
学年 (Grade)	1年
留学先 (Name of overseas institution)	Institut de Touraine
留学期間 (study abroad period)	2022/2/28~2022/3/11
記入日 (Date)	2022/3/25

留学レポート Study Abroad Report

参加したきっかけ

私は映画や舞台観劇などが趣味で、その中でも特に惹かれていたのがフランス文化でした。入学時、履修でフランス語を選んだのもそれだけの単純な理由だったので、1年間学ぶ中でフランス語の難しさに度々挫折しそうになっていました。しかし、担当のパンジエ先生に勧めていただいたのもあって、オンラインなら気軽に参加できると、思い切って挑戦しました。正直、語学力に対する自信は全くといっていいほどなかったのですが、無理矢理にでも話さなければならぬ環境で取り組んでみようという気持ち半分、もうどうにでもなれという気持ち半分でした。

体験して感じたこと

具体的な授業内容は自己紹介や他己紹介、挨拶、数字、疑問詞、メールや電話など日常生活における表現、家族について、動詞の活用、男性形と女性形の見分け方など、基礎的なものでした。そのため、授業についていけないということはなかったし、一年間の勉強を活かしながら現地の先生や他の生徒とコミュニケーションがとれるのがとても楽しかったです。授業の進め方は、文法を習うというよりもリスニングやアクティビティを通して身につけていく、実践型の授業でした。数をこなすことで自ずと力がついていく実感があつたし、当然授業中の言語は全てフランス語なので、自然と耳が慣れてくるようになりました。オンラインだからこそ生じる通信上の問題はやはりありましたが、その都度先生が快く対応してくださったので、研修期間中は特に大きなトラブルはありませんでした。ただ、オンライン参加だとどうしても現地とのコミュニケーションに時間差が生じるため、名指しで問いかけられたとき以外は声を発しづらく、スピーキングの力は少し定着しづらいのかなとは感じました。

特に印象に残っているのは、世界各国の国別ステレオタイプについてディスカッションしたことです。日本人に対するステレオタイプで挙がったのが、働くことが好き、お酒が好き、などでした。日本人の私からすると違和感があり、それを伝えたかったのですが、微妙なニュアンスの違いを思うように表現できなくて少し悔しかったです。それと同時に、自分が日本以外の国や地域に対して持っている印象や考えは果たして事実といえるのかなど、改めて見つめ直すきっかけになりました。

今回、オンライン留学プログラムに参加して一番感じたことは、何事も少しでも興味があるなら飛び込んでみるべきだということです。私は留学に興味を持っていても、これまでなかなか踏み出す勇気が持てませんでした。でも、やってみれば意外と頑張れる自分がいたり、想像どおりやそれ以上に大変なことがあっても意外となんとかなるものでした。失敗を恐れずに参加したことで得られた経験は、何物にも代えがたいものだと思います。2週間という短期間で、かつオンラインという制約もありましたが、終わってみれば参加して良かったと心から思っていますし、さらにフランス語の勉強を頑張ってみようというモチベーションにもなりました。次の機会には、ぜひ実際にフランスを訪れてみたいです。